



# 八戸ブックセンター 企画事業報告書 (令和7年度版)

観光文化スポーツ部  
文化創造推進課 八戸ブックセンター



# 目次

|                      |   |
|----------------------|---|
| 八戸ブックセンターの基本方針 ..... | 1 |
| 取り組みの全体像.....        | 2 |
| セレクトブックストア .....     | 3 |

「本を読む人を増やす」「本を書く人を増やす」  
「本でまちを盛り上げる」ための企画事業

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 本のまち読書会.....          | 4  |
| アカデミックトーク .....       | 5  |
| 執筆・出版ワークショップ .....    | 6  |
| ギャラリー展 .....          | 7  |
| パワープッシュ作家.....        | 8  |
| 本のまち八戸ブックフェス .....    | 9  |
| ブックサテライト増殖プロジェクト..... | 10 |

さまざまな機関との連携

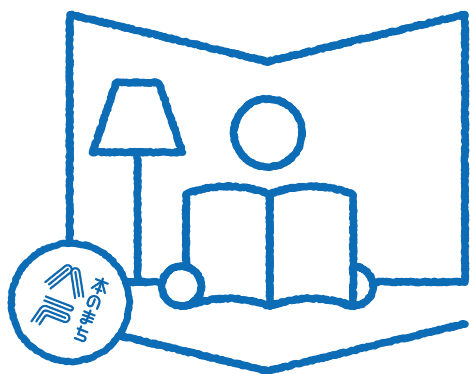
|                               |    |
|-------------------------------|----|
| こどもたちに向けて .....               | 11 |
| さまざまな機関との連携 .....             | 12 |
| 「本のまち八戸」を知ってもらう .....         | 13 |
| 施設の活用 .....                   | 14 |
| 参考データ① 令和7年度八戸ブックセンター決算額..... | 15 |
| 参考データ② 来館者数、販売冊数・販売額の推移.....  | 16 |

# 八戸ブックセンターの基本方針

八戸ブックセンターは、全国初の、まったく新しい書店のかたちです。

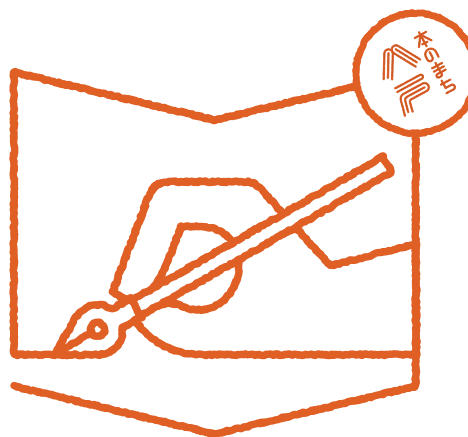
八戸に「本好き」を増やし、八戸を「本のまち」にするための、

あたらしい「本のある暮らしの拠点」というコンセプトに基づき、3つの基本方針を定め、それに則った施策を実行していきます。



## 本を読む人をふやす

八戸ブックセンターは、本を「読む人」を増やすために、これまで出会う機会が少なかった本が身近にある環境をつくと同時に、それを手に取りたくなるような工夫のある陳列や空間設計、読み始めるきっかけとなるイベントの開催などを行います。



## 本を書く人をふやす

当市は、三浦哲郎という偉大な作家を生んだ土地でもあります。

八戸ブックセンターは、本を「書く人」を増やすために、執筆するためのブースを備え、執筆や出版の相談窓口やワークショップの開催などを行います。



## 本でまちを盛り上げる

本はひとりで読むものであると同時に、そこから得た知識や情報、感情や思考などを共有することで、より深く楽しむことができるものでもあります。

八戸ブックセンターは、本で「まち」を盛り上げるために、本を介したコミュニケーションを生み出す様々な施策を行います。

# 取り組みの全体像

## 八戸ブックセンター

書店の機能を持ち合わせた公共施設で、本の販売という単一の機能に留まらない、本を通した市民交流及びまちづくりの拠点施設としての3つの機能



### ①セレクト・ブックストア機能

テーマ別の陳列などにより、本との偶然の出会いを創出すると合わせて、本を「私有」して読む体験を促します。

### ②「本のまち八戸」の拠点機能

「本のまち八戸」を推進する拠点施設として、民間書店や公立・学校図書館、マイブック推進事業との連携やサポートを行います

### ③本に関する企画実施機能

八戸ブックセンターの企画運営方針（基本計画書）に沿って各種企画事業に取り組みます。

連携やサポート

連携やサポート

連携やサポート

## 民間書店

- 地方の民間書店で取り扱いにくい本を八戸ブックセンターで揃えるなど、差別化・補完することで、面的に地域として市民が本に出合う環境を豊かにします。
- 八戸ブックセンターがハブとなり、民間書店（員）の連携・交流の機会をつくるほか、市外の個性的な書店経験者を招いた勉強会などの機会を通して、民間書店の魅力づくり強化のための支援を行います。
- マイブック推進事業（ブッククーポン）や、八戸ブックフェス、パワープッシュ作家などの取組を通し、民間書店での本の購入を促進します。

## 公立図書館

- ブックフェスなど企画での連携を図ります。
- 絶版本など購入ができない書籍への問合せに対応した情報提供を行います。

## 学校（図書館）

- 市内小中学校を訪問しての「出張ブックトーク」を行います。
- 市内小中学生を対象とした読書ワークショップの実施や職場体験への協力をします。
- 学校図書館司書研修会において、こどもの本についての情報提供をします。
- 高校生対象の読書ワークショップや文芸大会の連携を行います。
- 八学大、八工大、八戸高専学生が大学・学校図書館に配架する本の選書をするブックハンティングなどを実施します。

## 公共・民間施設

はっちや美術館を中心とした公共施設のほか、民間施設・団体と連携し取り組むことで、企画内容の充実や回遊促進のほか、市内各所で本に触れる機会を提供するなどの相乗効果を図ります。



## 偶然出会う本（未読ジャンルへの誘い）

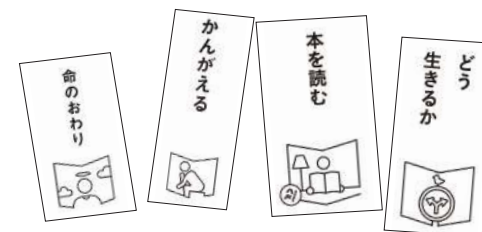
「出版物は全部置く」都心の大型書店とは異なり、様々なジャンルの入口となる本を「敢えてセレクトして並べる」ことでこれから出会う未読ジャンルへの選択肢を提案。

定期的にフェアも実施。テーマや一冊の本をフックに、そこから興味が広がるような選書・陳列をしている。

## 品揃えの補完（民間書店との棲み分け）

## 公共サービスとしての役割

書店は知的情報インフラであり、書店が無くなると、大型書店がある大都市と地方都市の文化的環境の格差がますます大きくなるという課題を解消。図書館だけでなく、本を買って手に取る体験ができる書店など、知識を得るためのプロセスを公共サービスとして複数用意。



館内棚カテゴリーの一例)



えんぶりフェア / にゃんところ&中西レモンのえんぶりをたずねて



# 本のまち読書会



『装いの翼』（岩波書店）刊行記念 トークイベント「三人の女性の、服と人生の物語〜いわさきちひろ、茨木のり子、岡上淑子〜」（令和7年11月1日）



トークイベントにあわせた特設棚を設置

## 多様なゲストで幅広い世代の方に

作家や編集者、書評家、出版社、教育機関などからゲストを招き、普段の読書とは違う目線からの話を聞くことができるトークイベントを通じて、さらに深く本を楽しむきっかけにつながっています。また、イベントをきっかけに、参加者による新たなコミュニティがえられるなど、ブックセンターが市民活動の場にもなっています。

令和7年度は、市内で映画上映会などを行う市民活動団体と連携し、ラッパーのアフロさんと詩人の黒川隆介さんの著書のダブル刊行記念イベントを開催しました。また、「装いの翼」の刊行を記念したトークイベントでは、著者の行司千絵さんとちひろ美術館・東京の原島恵さんに、いわさきちひろ、茨木のり子、岡上淑子の戦時中のエピソードや3人の共通点を語っていただき、参加者からは馴染みの作家がより身近に感じられたといった声が寄せられました。



アフロ×黒川隆介 トークショー＆売り歩きツアー（令和7年6月11日）



# アカデミックトーク



八戸工業高等専門学校 土屋範芳校長「生きている地球－変わる地球観－」  
(令和7年10月18日)

## 知的好奇心を刺激する

教育機関や文化施設などから講師を招き、本を軸にした、各分野からの専門的なトークイベントは、本に対する興味を湧き立たせます。  
また、トークに合わせて、各講師に選書していただいた「ひと棚」を展開し、さらに理解を深められるような仕掛けづくりをしています。

青森の作家たちの「どうぶつ文学館」～青森県近代文学館  
「作家とどうぶつ」解説～(令和8年2月14日)



＜シリーズ・アートをよむ＞棟方志功没後50年記念展  
「青森の子 世界のムナカタ」解説(令和7年8月31日)

### 令和7年度実施状況

青森県立美術館コレクション 2025-2 棟方志功没後50周年記念  
「青森の子 世界のムナカタ」解説  
(ゲスト：一般財団法人棟方志功記念館学芸員 宮野春香氏)

生きている地球－変わる地球観－  
(ゲスト：八戸工業高等専門学校校長 土屋範芳氏)

寺山修司記念館×八戸ブックセンター『あゝ、荒野』を読む  
(ゲスト：三沢市寺山修司記念館学芸員 広瀬有紀氏)

青森の作家たちの「どうぶつ文学館」  
～青森県近代文学館「作家とどうぶつ」解説～  
(ゲスト：青森県近代文学館文学専門主幹・副室長 石岡健一氏)

私の「えんぶり」考 第2弾「各組の違いがよくわかるえんぶり予習講座」  
～烏帽子編・唄と口上編・摺りの動きと隊形(フォーメーション)編～  
(ゲスト：えんぶり研究家 戸来元氏)



各組の違いがよくわかる「えんぶり鑑賞」予習講座 一烏帽子編・唄と口上編・摺りの動きと隊形(フォーメーション)編(令和8年2月15日)



寺山修司記念館×八戸ブックセンター  
『あゝ、荒野』を読む(令和8年1月10日)



# 執筆・出版ワークショップ



HACHINOHE ZINE CLUB ブース(令和7年9月28日、本のまち八戸ブックフェス・マチニワ会場)

## 「つくる楽しさ」を体験・共有

令和4年度から八戸市美術館と協働している「HACHINOHE ZINE CLUB」は、ワークショップやミーティングを継続的に行っており、小説やイラスト、短歌、写真など、さまざまなジャンルで表現をしている人たちの交流の場となっています。

令和7年度はブックフェスに合わせ、横浜で「本をつくる本屋」として有名な「本屋・生活綴方」主宰の中岡祐介さんを講師にお招きし、リソグラフ（輪転機）に触れてみる初級編と、ZINEの企画から製本までを学ぶ実践編の本をつくるワークショップを開催。実践編で制作したZINE「八戸を書く」は、増刷してブックフェス会場で販売を行い、話題となりました。



ZINE とは・・・個人や少人数で発行する自主的な印刷物や冊子のこと。



リソグラフで本づくり（初級編）(令和7年9月28日、本のまち八戸ブックフェス・美術館アトリエ)



八戸出身漫画家・類家海「けがわとなかみ」展  
(令和7年9月20日～11月30日)

## “本”を切り口にしたさまざまな展示

八戸出身漫画家・類家海「けがわとなかみ」展では、ページをめくるたび、読んだ人の心をゆさぶり、じんわりとあたたかい気持ちにさせてきた漫画「けがわとなかみ」のストーリーやキャラクターの魅力とともに、地元から羽ばたいた類家海さんを広く紹介することができました。



はらべこめがねさんワークショップ



はらべこめがね「山のフルコース」絵本原画展  
(令和7年7月12日～8月31日)



生誕90年・寺山修司×画業66年・バロン吉元『あゝ、荒野』展／『柔俠伝』  
八戸編 原画展 (令和7年12月6日～令和8年3月1日)



バロン吉元先生  
ライブペインティング



# パワープッシュ作家



八戸出身フリーアナウンサー 田中知子さん著書刊行記念イベント（令和7年6月8日、会場：八戸市美術館）

## 地元出身の著者の作品をパワープッシュ！

令和7年2月に八戸出身のフリーアナウンサー・田中知子さんの著書『口下手さんでも大丈夫 本音を引き出す聞き方』が発売されたことを記念してイベントを開催。会場の八戸市美術館ジャイアントルームは、誰でも無料で利用できる公開交流空間のため、イベントに参加された方はもちろん、美術館に来館された方もトークに聞き入る様子が見られました。編集者を交えた本の制作過程の紹介に加え、力士へのインタビューのエピソードや大相撲のトリビアなど、大相撲愛好家の田中さんならではのトークは大変好評でした。

イベントの翌日には、田中さんの母校である八戸聖ウルスラ学院高等学校にて、講演と放送部の生徒へのレクチャーが行われました。

八戸市や近隣市町村にゆかりのある作家を「パワープッシュ作家」、同じくゆかりのある作品を「パワープッシュ作品」として、館内でのフェアや、トークイベントなどを開催しています！

## 八戸市民作家が東奥文学賞大賞を受賞！

出版や発表、文学賞への応募などを目標に執筆する方が、市民作家登録をすることで利用可能な執筆専用スペース「カンヅメブース」。八戸市民作家の藤原雅人さんが、執筆・推敲の大部分をカンヅメブースで行った第8回東奥文学賞大賞受賞作「盗まれる指先」の刊行を記念したトークイベントを開催しました。

参加された方々は、藤原さんが文章を始めた経緯やこれまでに影響を受けた作品などのお話に聞き入り、イベント終了後には藤原さんとの交流を楽しめました。

八戸出身社会学者・是川タさんと語る『ニッポンの移民』と八戸地域経済（令和7年11月29日）



八戸市民作家・藤原雅人さんトークイベント「カンヅメブースのススメ」（令和7年7月12日）



出版社・書店ブース（マチニワ会場）



さがしっこイベント

回遊型イベントには、大勢のこどもたちに参加いただきました。



一箱古本市（はっち会場）



## 市民が本に触れる機会をつくる

年に1度、中心街（はっち、マチニワ、ブックセンター）で開催する「本のまち八戸ブックフェス」。

前回までに引き続き、市民参加型の一箱古本市・古書店ブースや出版社ブース、書店ブースなどを開設したほか、地元ゆかりの作家さんなどをお招きしたトークイベントを実施しました。

世代を問わず楽しめるイベントと、本好きの方同士の交流が好評で、継続開催を希望する声をいただいています。

令和7年度は、2日間で2万人を超えるお客様にご来場いただきました。



哲学者・朱喜哲さん、文芸評論家・三宅香帆さん  
スペシャルトークイベント「本と読書と書店～私と世界をつなぐもの～」(はっち会場)



# ブックサテライト増殖プロジェクト



## 市内全域に広がる本棚スポット

市内の小売店や飲食店、公共施設などに呼びかけ、「ブックサテライト」として小さな本棚を設置。本棚にはそれぞれの店舗に合わせた選書をしており、ちょっとした時間を過ごすところに、その場所にあった本棚がある「まち」を目指しています。

青森みちのく銀行八戸市庁支店

「八戸の魅力、再発見！」をテーマに、いまとむかしの八戸の姿を比べられる写真集や、主に八戸を調査対象にした地域研究をまとめた本などを選んでいきます。

他にも・・・

### ガラージュ M

「生活の中に彩りを与えてくれる本」をテーマに、香りが好きな人のための本や、素敵な装丁の本など、インテリアに合わせて楽しめる本を選んでいきます。

### 八戸市美術館

「八戸市美術館で読みたい本」をテーマに、美術館の楽しみ方を紹介する本や、コンセプトの「出会いと学びのアートファーム」にちなんだ色彩豊かな絵本などを選んでいきます。

### ブックサテライト参加施設

青い森信用金庫全店（15 店）  
ドトールコーヒーショップ八戸十三日町店  
スターバックスコーヒー（八戸田向店、八戸城下店）  
八戸市水産科学館マリエント

八戸市博物館  
八戸市立市民病院 周産期センター  
八戸市美術館  
風笑堂  
ガラージュ M  
青森みちのく銀行八戸市庁支店



# こどもたちに向けて



## 親子で楽しむワークショップ

高畠那生 絵本「うしとざん」原画展の関連企画として、ワークショップ「みんなで、巨大うしとざん！～だってそこにうしがあ  
るから～」を開催。

こどもたちはトコトコと登るキャラクターをつくり、完成後には高畠さんが描いた巨大なうしの上にキャラクターをはわせ、「うし  
とざん」ごっこを楽しみました。



こどもの本のおはなし会

## マイブック推進事業での連携

市内の全小学生へ2000円分のマイブッククーポンを配付し、書店で本を買う体験を勧めています。ブックセンターでは、クーポンと共に配付する「おすすめブックリスト」を作成をしています。



ブックリスト「本はともだち」2026



八戸工業大学 船崎学長とアクティビティを楽しむ子どもたち

## 本とあそぼう！

おすすめブックリスト「本はともだち」に掲載の図書の紹介のほか、読み聞かせやクイズ、工作などのアクティビティを楽しむことができるイベントを初開催しました。



### 全国の図書館、教育機関等との連携

数多くの視察を受け入れているほか、全国各地からの依頼により「本のまち八戸」の取組を紹介することにより、八戸のPRにもつなげています。

#### 【視察受入件数】

54 件、391 名

#### 【事例発表】

- ・八戸工業大学第二高等学校 探究学習（出前授業）
- ・三八・上北地区高等学校図書委員研修会 図書館部会（青森県高等学校教育研究会）
- ・青森県高等教育機関図書館協議会研修会

など



ブックハンティング

### 学生が本と出会う場を創出する

市内の高専生、大学生によるブックハンティング（学校・大学図書館に配架する本を自ら選書）を実施しています。

ブックハンティングでは、学生とブックセンターのスタッフで「なぜ、その本を選んだのか」など、本についてのディスカッションも行い、本に対する知的好奇心を深めることにつなげています。

- ・八戸学院大学（8名）
- ・八戸工業大学（9名）
- ・八戸高等（11名）



敦賀市知育・啓発施設「ちえなみき」

八戸ブックセンターを  
モデルにして開設



# 「本のまち八戸」を知ってもらう



哲学者  
朱喜哲さん

42:33

YouTube 三宅書店【本を読むモチベを上げるチャンネル】

## 積極的な情報発信

地元の報道機関以外にも、さまざまな情報発信を心がけています。令和7年度には、多くの雑誌やテレビ番組などご紹介いただいたほか、文芸評論家の三宅香帆さんのYouTubeチャンネル 三宅書店【本を読むモチベを上げるチャンネル】のコーナー「三宅がゆく」にて八戸ブックセンターを取り上げていただき、全国の皆さんにご紹介いただきました。



動画はこちらから

## 「本のまち八戸」の取り組みを知ってもらう

八戸市内の本に関するお店や施設のほか、「本のまち八戸」の取り組みを紹介するフリーペーパー「ほんのわ」を3年ぶりにミニサイズで復刊。本のまち八戸ブックフェス2025特集号として、ブックフェスの盛り上げりを写真で振り返ったほか、文芸評論家の三宅香帆さんと哲学者の朱喜哲（ちゅ ひちよる）さんによるトークの特別ダイジェスト版を掲載するなど、「読み物」としての魅力もふんだんに盛り込みました。



## ほんのわミニ



## 読書会ルーム



市内読書団体への貸出のほか、ブックセンター主催の企画事業に活用しています。一般的な読書会だけではなく、句会・短歌会や紹介型の読書会など、多様な使い方があり、利用されている方からは、落ち着いた雰囲気の中、館内の本を読むこともでき、気軽に利用できるとのご意見をいただいています。

|       | 貸館   |       | 自主事業 |      |
|-------|------|-------|------|------|
|       | 計    | 月平均   | 計    | 月平均  |
| 令和3年度 | 52件  | 5.2件  | 14件  | 1.4件 |
| 令和4年度 | 87件  | 7.3件  | 16件  | 1.3件 |
| 令和5年度 | 152件 | 12.7件 | 23件  | 1.9件 |
| 令和6年度 | 171件 | 14.3件 | 47件  | 3.9件 |
| 令和7年度 | 159件 | 13.3件 | 60件  | 5.0件 |

※令和3年度について、休館の期間があるため「月平均」は10ヶ月で算出

## カンヅメブース



本などを執筆したい人向けに貸出しており、利用するには、活動内容などを教えていただき「市民作家登録」をしていただいています。趣味で執筆している方のほか、小説やエッセイを執筆するプロの作家、ライターの方など、幅広い利用があり、利用されている方からは、執筆に集中できるとのご意見をいただいています。

|       | 市民作家登録者 |      | 利用件数 |       |
|-------|---------|------|------|-------|
|       | 登録者数    | (累計) | 計    | 月平均   |
| 令和3年度 | 15名     | 274名 | 190件 | 19.0件 |
| 令和4年度 | 28名     | 302名 | 307件 | 25.6件 |
| 令和5年度 | 17名     | 319名 | 309件 | 25.8件 |
| 令和6年度 | 29名     | 348名 | 290件 | 24.2件 |
| 令和7年度 | 22名     | 370名 | 257件 | 21.4件 |

※令和3年度について、休館の期間があるため「月平均」は10ヶ月で算出

# 参考データ① 令和7年度八戸ブックセンター決算額

## 【歳入】

単位：円

| 科 目     |     |                       | 金 額     |
|---------|-----|-----------------------|---------|
| 事業に伴う収入 | 使用料 | ブックセンター使用料（ドリンクスタンド分） | 464     |
|         | 寄付金 | ブックセンター事業費寄付金         | 38,594  |
|         | 諸収入 | 電気等使用料                | 83      |
|         |     | 書籍売上収入                | 15,420  |
|         |     | その他雑入（講師謝礼等）          | 259     |
|         | 小 計 |                       | 54,820  |
| 一般財源    |     |                       | 51,305  |
| 歳入合計    |     |                       | 106,125 |

## 【歳出】

### A.選書、企画事業の実施に係るもの

単位：円

| 科 目 |                 | 金 額 |
|-----|-----------------|-----|
| 人件費 | 職員3名、会計年度任用職員4名 |     |
| 報償費 | 自主事業謝礼          |     |
| 旅費  | 自主事業等旅費         |     |
| 需用費 | 食糧費             |     |
| 役務費 | 通信運搬費           |     |
| 委託料 | 企画事業業務等         |     |
| 合 計 |                 |     |

### B.本の販売等に係るもの

| 科 目 |                    | 金 額 |
|-----|--------------------|-----|
| 役務費 | 手数料（クレジットカード決済手数料） |     |
| 委託料 | 書籍等仕入販売返品業務委託料     |     |
|     | （うち書籍仕入分）          |     |
|     | （うち販売返品業務等分）       |     |
| 合 計 |                    |     |

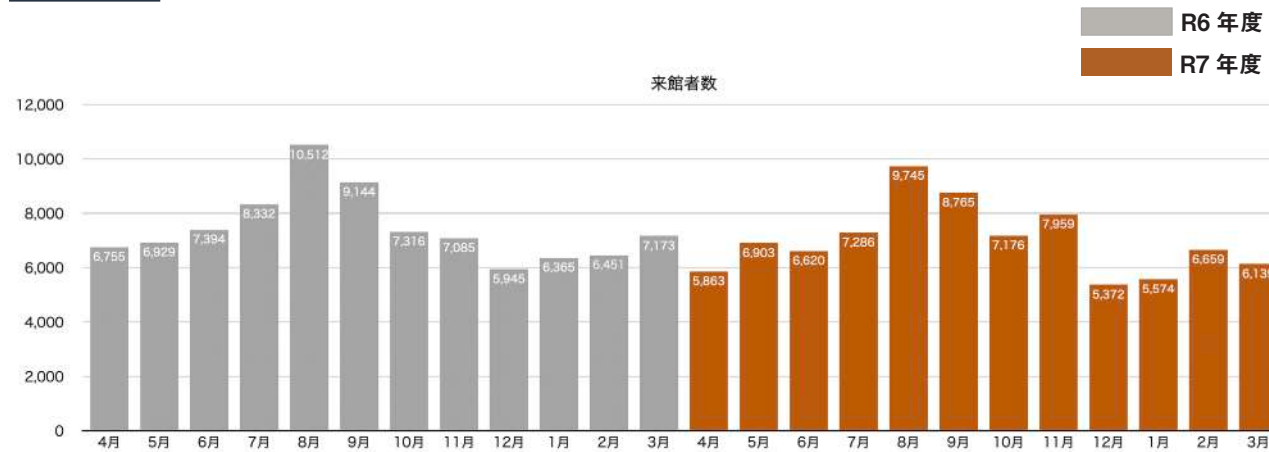
### C.建物の維持管理及び一般事務経費に係るもの

| 科 目      |                    | 金 額 |
|----------|--------------------|-----|
| 需用費      | 消耗品費               |     |
|          | 印刷製本費              |     |
|          | 光熱水費               |     |
|          | 修繕料                |     |
|          | 小 計                |     |
| 役務費      | 火災保険料等             |     |
|          | 小 計                |     |
| 委託料      | 清掃、廃棄物収集運搬業務       |     |
|          | その他（ホームページ運用保守業務等） |     |
|          | 小 計                |     |
| 使用料及び賃借料 | 建物等借上料             |     |
|          | その他（複写機使用料等）       |     |
|          | 小 計                |     |
| 備品購入費    | 庁用備品購入費            |     |
|          | 小 計                |     |
| 合 計      |                    |     |

|           |  |
|-----------|--|
| 歳出合計A+B+C |  |
|-----------|--|

## 参考データ② 来館者数、販売冊数、販売額の推移

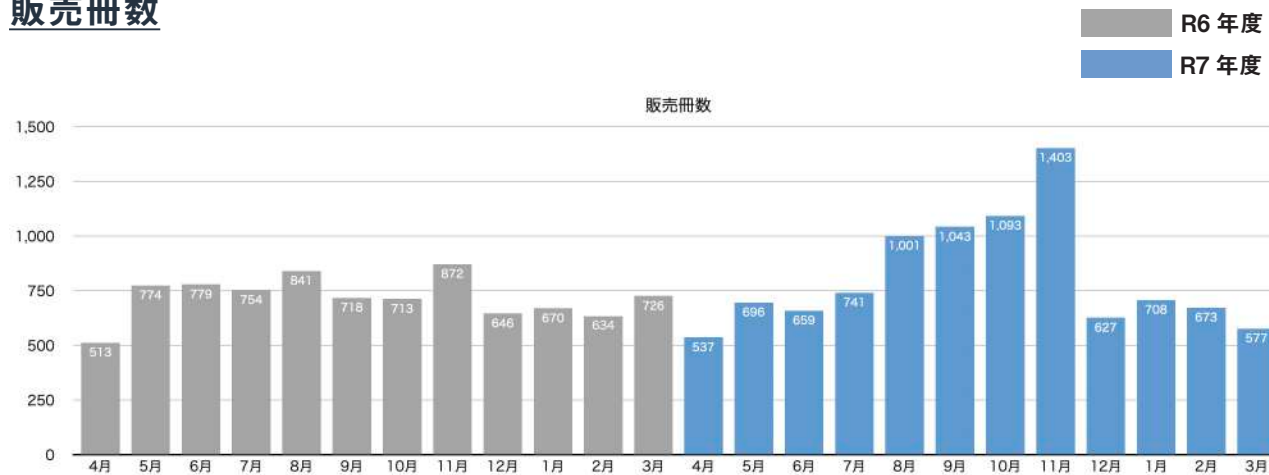
### 来館者数



### 来館者数

|       | 累計      | 月平均    | 1日平均 |
|-------|---------|--------|------|
| 令和3年度 | 59,911人 | 5,991人 | 230人 |
| 令和4年度 | 77,205人 | 6,434人 | 251人 |
| 令和5年度 | 82,737人 | 6,895人 | 270人 |
| 令和6年度 | 89,401人 | 7,450人 | 289人 |
| 令和7年度 | 84,061人 | 7,005人 | 274人 |

### 販売冊数



### 販売冊数

|       | 累計     | 月平均  | 1日平均 |
|-------|--------|------|------|
| 令和3年度 | 6,068冊 | 607冊 | 23冊  |
| 令和4年度 | 7,017冊 | 585冊 | 23冊  |
| 令和5年度 | 6,881冊 | 573冊 | 22冊  |
| 令和6年度 | 8,640冊 | 720冊 | 28冊  |
| 令和7年度 | 9,758冊 | 813冊 | 32冊  |

### 販売金額 (書籍のみ)

|       | 累計          | 月平均        | 1日平均    |
|-------|-------------|------------|---------|
| 令和3年度 | 9,672,553円  | 967,255円   | 37,202円 |
| 令和4年度 | 11,078,017円 | 923,168円   | 35,968円 |
| 令和5年度 | 10,861,054円 | 905,088円   | 35,378円 |
| 令和6年度 | 13,515,575円 | 1,126,298円 | 43,740円 |
| 令和7年度 | 14,464,097円 | 1,205,341円 | 47,114円 |

※令和3年度について、休館の期間があるため「月平均」は10ヶ月で算出